

れんけいと支援

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face,

Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> 発行日 2022年7月

新規薬剤「ポラツズマブ ベドチン」

血液内科

寺崎 靖



ポラツズマブ ベドチン（ポライビー®）は、抗CD79bヒト化IgG1モノクローナル抗体と微小管重合阻害作用を有する殺細胞性抗癌薬であるモノメチルアウリスタチンE（MMAE）を、プロテアーゼ切断性リンカーを介して共有結合させたCD79bに対する抗体薬物複合体（antibody-drug conjugate: ADC）です（図1）。本邦では、昨年2021年に承認・販売されました。

ポラツズマブ ベドチンの標的抗原であるCD79bは、B細胞受容体（B-cell receptor: BCR）の構成成分の一つです。BCRは免疫グロブリン分子とCD79a、CD79bのヘテロ二量体から構成されており（図2）、様々なシグナル伝達を介してB細胞の生存や増殖、分化に関与しています。また、BCRは、CD20等と同様に、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）や濾胞性リンパ腫（FL）等のB細胞表面でも発現が認められています。

作用機序は、①ポラツズマブ ベドチンが腫瘍細胞の細胞膜上に発現するCD79bに結合し、細胞内に取り込まれ、②細胞内に取り込まれた後にプロテアーゼによりリンカーが切断され、MMAEが細胞内に遊離し、③遊離したMMAEは微小管に結合し、細胞分裂を阻害、④アポトーシスを誘導すること等により、腫瘍増殖抑制作用を示す、と考えられています（図3）。

2022年7月時点での適応は、再発または難治性のDLBCLであり、ベンダムスチン塩酸塩およびリツキシマブ（抗CD20モノクローナル抗体）との併用において使用可能です（これをPola-BR療法と言います）。Pola-BR

療法は、米国のNCCNガイドラインでは、造血幹細胞移植の適応とされない再発または難治性のDLBCL患者さんにおける二次治療のpreferred regimenになっています。当院でも現在まで数名の患者さんにPola-BR療法を施行し、良好な経過をたどっています。

図1. ポラツズマブ ベドチン（ポライビー®）の構造

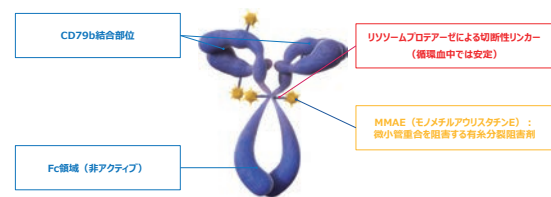


図2. B細胞受容体（BCR）とCD79b

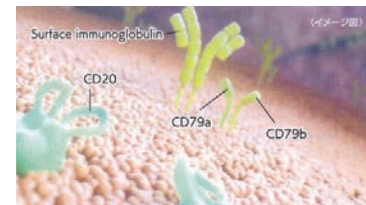
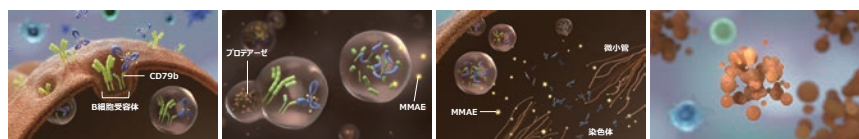


図3. ポラツズマブ ベドチンの作用機序

- 1 ポラツズマブ ベドチンとCD79bの結合、細胞内への移行
- 2 リソソームプロテアーゼによる分解、MMAEの放出
- 3 微小管重合の阻害
- 4 アポトーシスの誘導、細胞増殖抑制



8月分

研修・講演・学習会のご案内



1. 地域連携症例検討会（ハイブリッド開催）

※8月の地域連携症例検討会の開催はありません。

予告

今回の開催は下記のとおりです。ご参加をお待ちしております。

日時：9月13日（火） 19：00～20：00（ハイブリッド開催）

場所：当院3階 講堂

内容：①症例検討（担当）血液内科

②ミニレクチャー（担当）歯科口腔外科

地域連携症例検討会に関しては、今後もWEBを利用したハイブリッド方式で開催していくことを計画しています。つきましては、ZOOM会議のご案内に関して参加される先生方の利便性に鑑みURLならびにQRコード等をお送りするため、下記のメールアドレスへ①貴施設名 ②氏名を明記の上、メール送信いただきますよう、よろしくお願いいたします。一度登録させていただければ今後継続してご案内をメールいたします。

ttm2168@tch.toyama.toyama.jp（ふれあい地域医療センター 地域医療連携室）

2. 定例の研修会、看護研修

※COVID-19の状況を見ながら再開の予定です。

歯科口腔外科診療 事前予約のお願い

歯科口腔外科部長 寺島 龍一

新型コロナ感染症の予防対策のため、診察に今まで以上に時間がかかり、事前予約のない患者さんに大変長い待ち時間が発生している状況です。安全に配慮し十分に対応をさせていただくため、当科では当面の間、事前診療予約をしていただきますようお願いいたします。

なお、急を要する場合は、歯科口腔外科外来に直接ご連絡下さい。

※事前予約は、ふれあい地域医療センター TEL 076-422-1114（予約専用）で承ります。

※急を要する場合は、歯科口腔外科外来 076-422-1112（富山市民病院代表）内線2067

ふれあい地域医療センターからのお知らせ

日頃より大変お世話になり、ありがとうございます。

お盆期間中の**8月13日（土）**のふれあい地域医療センターにおける電話予約の業務は、誠に勝手ではございますが、お休みさせていただきますので、よろしくお願いいたします。



作：病院ボランティア 篠崎 佳子

糖尿病看護エキスパートナースの活動

糖尿病看護認定看護師 金盛 佐紀子

糖尿病看護エキスパートナース 鳥取 直美、奥田 陽子

当院では、糖尿病看護特定認定看護師1名、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の資格をもつ看護師2名が、糖尿病看護エキスパートナースとして活動しています。糖尿病透析予防管理指導、フットケア外来の運営など、糖尿病療養を行う患者さんへの支援が主な内容です。また、1型糖尿病の子ども達を対象としたサマーキャンプに参加し、自然の中での集団生活を通じて自己管理に必要な知識、技術を身につけるためのお手伝いもしています。

現在、週1回、病棟で糖尿病カンファレンスを行い、入院中の患者さんがより良い血糖コントロールとなるように、医師をはじめ、糖尿病看護エキスパートナース以外にCDEJの資格をもつ多職種(看護師・管理栄養士・薬

剤師・検査技師)を交えて、現状や今後の治療方針を話し合っています。それぞれの専門性を生かしたチームアプローチによって、教育効果を上げることができ、チームとしての連携が強くなりました。

私たちは、常に患者に寄り添い、患者の望む情報を提供できるようにスキルを磨き、情熱をもって、糖尿病の療養指導に取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、ご指導とご理解を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護外来での療養指導



糖尿病看護エキスパートナース

医師不在のお知らせ

※外来担当日の休診のみ掲載

8月

科名	医師名	不在日	科名	医師名	不在日
内科	林	15日	整形外科・ 関節再建外科	重本	12日、15日、19日、26日、29日
	寺崎敏	15日、26日		岩井	2日
	野村智	26日、30日、31日		山本	9日、10日
	水野	12日、15日	産婦人科	長谷川徹	15日、17日、18日
	毛利研	24日、25日、26日		田中	26日
	山田和	2日		布村	8日、9日
外科	藤村	5日	廣兼	10日	
	佐々木	5日、9日	精神科	坂本	16日
	竹下	15日、16日		中島	19日
	名倉	22日	形成外科	宮下	1日、2日、3日、4日、5日
	竹中	8日		皮膚科	野村佳
泌尿器科	高瀬	23日	大村		19日、22日
	酒徳	24日	脳神経外科	山野	1日、5日
麻酔科	清水	24日		毛利正	9日、10日、12日
	小児科	和田拓		5日、25日、26日、	中尾
眼科		山田芳	12日、15日	湖東	29日、30日
	高松	29日	呼吸器・血管外科	土岐	24日
	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻		12日	歯科口腔外科
児島		4日、5日、17日、18日、19日			

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112 (代) 内線2168

編集後記

史上最も早く、6月中に梅雨が明けた一方、35度を超える猛暑日が連日続き、体調管理に四苦八苦されているのではないのでしょうか。

厚生労働省は、熱中症リスクの注意喚起として、屋外では近距離での会話時を除き、マスクを外すことを推奨しました。マスク生活に慣れた現状から屋外でマスクを外すことへの抵抗が少なからずあるなか、これも新しい生活様式と捉え、少しずつ取り組んでいるところであります。

ただ、7月に入ってから感染者数は増加し、第7波の到来が懸念されています。

両者も臨機応変に、状況に合わせた正しい行動を取るとともに、変わる局面に応じて対処していきたいものです。

放射線技術科 野 英之

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154

メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp



ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp